

発注工事に関し、寄せられた質問と回答

工事名 厚岸漁港人工地盤スロープ部（橋梁）その他工事

質問日	質問内容	回答内容
平成31年3月19日	<p>同種工事について 同種性が認められる工事に製作とありますが、工場製作だけでも実績と認められるのでしょうか？ご教授願います。</p>	<p>本工事の同種性が認められる工事は入札説明書に記載のとおり「プレストレストコンクリート橋梁上部構造の製作及び架設施工実績。（製作と架設は別工事でも可とする。橋梁上部構造物には人工地盤および栈橋のPC床版を含む。）」となっています。このため工事実績としては製作工事と架設工事の両方の実績がそろっている場合には同種工事として認められます。しかし、どちらか一方の実績しか無ければ同種工事としては認められません。なお、ここで言う製作は工場製作と現場製作を区別せずに両方を指しています。</p> <p>個別事項につきましては、事前に評価点をお知らせする事になりますので、入札説明書に対する質問の回答としてお知らせすべき趣旨の内容ではありませんので、実績として認められるかどうかはお答え出来ません。資料の提出を受け確認させていただきます。</p>
平成31年3月20日	<p>1. 見積参考資料P17 43機械式継手材料費(組)に関して D16用 スリーブ圧着ネジ継手について、刊行物単価にはA, B, Hタイプの3種類が掲載されていますが、何れを採用されているのでしょうか。</p> <p>2. 見積参考資料P24 82横組鉄筋工に関して SD345 エポキシ樹脂塗装 D10の材料単価について、局単価にはD10の単価は記載されていません。 単価の算出方法は、(刊行物単価の異形棒鋼SD345 D10の単価+エポキシ樹脂塗装鉄筋工事加算額)と考えてよろしいでしょうか。</p> <p>3. 見積参考資料P25 85機械式継手材料費(組)に関して D22用について、43機械式継手材料費(組)と同様にスリーブ圧着ネジ継手を使用されていると考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>1 施工状況を勘案し、片側の鉄筋を回転させることが可能と判断しAタイプとしています。</p> <p>2 よろしいです。</p> <p>3 施工状況を勘案し、鉄筋を回転させることが不可能と判断しBタイプとしています。</p>

	<p>それを使用する場合、刊行物単価には、A, B, Hタイプの3種類が掲載されていますが、何れを採用されているのでしょうか。そうでない場合、出典元をご教示願います。</p> <p>4. 見積参考資料P26 87材料費(m2)について 埋設型枠 亜鉛鉄板の寸法を明示していただけないでしょうか。</p> <p>5. 見積参考資料P32 114排水管用継手材料費(個)について 計上されている単価は、刊行物単価のMDジョイント ヲット S 6B 150Aと考えてよろしいでしょうか。</p> <p>6. 見積参考資料P34 123材料費(本)について コーキング剤について、開発局単価のコーキング剤 チューブタイプ (500g/本)を使用されていると考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>4 亜鉛鉄板の寸法は、平板 t0.6×B914×L829です。</p> <p>5 橋梁排水管用継手(排水管用継手、口径 150mm/用 水平移動量75mm/m)で計上しています。</p> <p>6 よろしいです。</p>
<p>平成31年3月20日</p>	<p>同種工事実績について</p> <p>入札説明書4(4)に掲げられています同種工事実績について、工事内容が上記「同種性が認められる工事」又は「より同種性の高い工事」の要件を満たしていることを前提に、過去に北海道開発局における工事区分「PSコンクリート」の参加資格で受注した工事の施工実績は、本工事の同種実績として認められるでしょうか？</p> <p>それとも、あくまで本工事と同じ工事区分「一般土木」の参加資格で施工した工事であれば、内容は満たしていても同種実績として認められないのでしょうか？ご教示ください。</p>	<p>本工事の競争参加資格は入札説明書4(4)に記載のとおり、工事区分「一般土木」ですが、本工事では「同種性が認められる工事」および「より同種性の高い工事」については工事区分を施工実績として求めていませんので、「同種性が認められる工事」及び「より同種性の高い工事」は、それぞれの施工実績の要件を満たしていれば、その施工実績の工事区分が「一般土木」でも「PSコンクリート」でも「他の工事区分」でも、施工実績として認められます。</p>
<p>平成31年3月25日</p>	<p>1. 見積参考資料P18 50含浸材塗布及び見積参考資料P24 79含浸材塗布について、施工規模は両方の数量を合算した数量に対する単価を適用していると考えてよろしいでしょうか。</p> <p>2. 見積参考資料P22 68ϕム支承タイプ 据付 (ハットタイプ)及び69ϕム支承タイプ 据付 (ハットタイプ)について、規格欄に材料の寸法が340*270*96と記載がされています。設計図面及び策定単価一覧表では370*270*96と記載されています。規</p>	<p>1 よろしいです。</p> <p>2 図面及び策定単価に記載の370*270*96が正しいです。 数量総括表及び見積参考資料を訂正しますので、詳細につきましては、入札説明書等ダウンロードシステムにてご確認願います。</p>

	<p>格欄が誤っていると考えてよろしいでしょうか。</p> <p>3. 見積参考資料P32 排水管可撓式継手材料費について、刊行物単価で採用している詳細の規格を明示していただけないでしょうか。</p> <p>4. 見積参考資料P36 130表層(車道・路肩部)について、歩掛の標準締固め後密度は2.35t/m3と考えてよろしいでしょうか。異なる場合、適用する条件を明示していただけないでしょうか。</p> <p>5. 見積参考資料P37 135ドレーンパイプ材料費(m)について、道路設計要領 第3集 橋梁 第1編 道路橋 第2章 上部工 3-2-39より導水パイプは、φ20(内径)を標準とし、排水柵や水抜き孔等に確実に接続しなければならない。ただし、車道を横断して設置する場合には、ステンレス鋼管等のように輪荷重によりつぶれが生じない材料を選定し、φ15(内径)を標準とすると記載があります。適用している材料はステンレス鋼管と考えてよろしいでしょうか。そうでない場合、刊行物単価にある規格を明示していただけないでしょうか。</p> <p>6. 見積参考資料P38 グルーピング工について、特記仕様書に寸法が明示されていますが、刊行物単価に合致する寸法がありません。適用する規格は幅9m 深6mm 間隔60mm 横方向でよろしいでしょうか。異なる場合、出典元を明示していただけないでしょうか。</p>	<p>3 管理番号 2 5. の回答を参照願います。</p> <p>4 2. 3以上2. 4 t/m3未満を適用しています。</p> <p>5 排水用導水管は呼び径(φ18)で表示しております。今回図示している鋼製の管は内径φ15以上です。輪荷重がかかっても問題のない排水用導水管 鋼製(溶融亜鉛めっき)で計上しています。</p> <p>6 よろしいです。</p>
<p>平成31年3月26日</p>	<p>1、諸雑費及び端数処理について 諸雑費及び端数処理は、赤本に記載の歩掛、および経費計算(共通仮設費(率)や現場管理費、一般管理費等)については赤本準拠。 それ以外については港湾土木請負工事積算基準に準拠するものと考えてよろしいでしょうか。</p> <p>2、「10 P3鋼管杭材料費(本)」「11 P4鋼管杭材料費(本)」において 「SL塗装」は、保護層タイプの物価本2誌平均単価と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>1 諸雑費、端数処理、経費計算等については、全て「土木工事標準積算基準書」にて積算しております。</p> <p>2 よろしいです。</p>

	<p>3、「14 鋼管・既製コンクリート杭打工〔パイルハンマ工〕において</p> <p>a)「クローラ式杭打機運転」は、油圧ハンマ直結三点支持式 ラム質量6.5～8t、特殊運転手1名・軽油123L・機械損料1.75供用日、諸雑費まるめ有りと考えてよろしいでしょうか。</p> <p>b)「バックホウ運転」は、山積0.28m³ 排対2次、特殊運転手1名・軽油3.8L・機械賃料1.6日、諸雑費まるめ有りと考えてよろしいでしょうか。</p> <p>c)「クローラクレーン運転」は、油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 50～55t、特殊運転手1名・軽油27L・機械損料1.12供用日、諸雑費まるめ有りと考えてよろしいでしょうか。</p> <p>4、「50.79. 含浸材塗布」について</p> <p>施工規模は、どちらも100m²以上と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>3 「14 鋼管・既製コンクリート杭打工〔パイルハンマ工〕の積算については、「土木工事標準積算基準書 第3章 基礎工 ①-1パイルハンマ工」にて積算しております。</p> <p>4 よろしいです。</p>
<p>平成31年3月26日</p>	<p>1、「82 横組鉄筋工」において</p> <p>「エポキシ樹脂塗装鉄筋 SD345 D10」は局単価に登録がありませんが、異形棒鋼 SD345 D10（建設物価1誌のみ）に、エポキシ樹脂塗装鉄筋エキストラ D10（建設物価1誌のみ）と消耗品費を加算し、有効3桁止め（4桁目以降切り捨て）するものと考えてよろしいでしょうか。</p> <p>また、消耗品費は局単価や物価本に記載がありませんが、D13、およびD16、D19～25などのエポキシ樹脂塗装鉄筋（局単価）から異形棒鋼、およびエポキシ樹脂塗装鉄筋エキストラの物価本単価を差し引いた、7500円が消耗品費の単価であると考えてよろしいでしょうか。</p> <p>2、「87 材料費（m²）」において</p> <p>埋設型枠用の亜鉛鉄板について、出典元と規格をご教授願います。</p> <p>また、出典元が物価本であった場合、物価本それぞれの枚単価をm²単価に単位換算し、その後2誌平均するものと考えてよろしいでしょうか。</p> <p>3、「90.91. PC工」において</p> <p>材料数量の端数処理は、小数3位止め（小数第4位四捨五入）と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>1 「エポキシ樹脂塗装鉄筋 SD345 D10」については、物価資料に掲載の「エポキシ樹脂塗装エキストラD10」と消耗品費を加算して算出しており、金額の桁数については有効3桁（4桁目以降切り捨て）との考えはしておらず、全ての単価の合算額で計上しております。</p> <p>また、消耗品費の考え方については、エポキシ樹脂塗装鉄筋（局単価）から異形棒鋼およびエポキシ樹脂塗装鉄筋エキストラ（物価資料）単価を差し引いた単価を消耗品費として計上しております。</p> <p>2 埋設型枠 亜鉛鉄板については、局単価にて計上しております。寸法は、平板 t0.6×B914×L829です。</p> <p>3 よろしいです。</p>

4 「ゲルピング工」について
市場単価のゲルピング工「横方向 幅9mm 深6mm 間隔60mm」を準用するものと
考えてよろしいでしょうか。

5、「143 材料費（枚）」について
局単価「高規格 集水柵コンクリート蓋 B型用」と考えてよろしいしょう
か。

4 よろしいです。

5 よろしいです。